

【初版】 2017年5月22日

【9版】 2022年7月15日

AQL安全マニュアル

1. はじめに

安全は全てに優先します。

AQLは、大会の特徴でもある「相互出題」と同じように、全ての参加者の協力で安全を確保していきます。

安全な大会を継続することで、AQLはその信用と信頼を高めていき、ひいてはクイズという競技全体の地位向上につながっていきますので、AQLに関わるあらゆる方のご理解とご協力をお願いします。

1-2. 本マニュアルの適用範囲

本マニュアルは、「4. オンライン開催時の対策」を除き、参加者が一同に会して行うクイズ大会（リアル開催）を想定しています。

2. 基本方針

AQLは、以下の基本方針に則って安全を確保します。

- (ア) AQLは、安全確保体制を明確にします。
- (イ) AQLは、危険に近づきません。
- (ウ) AQLは、危険を発生させません。
- (エ) AQLは、万一危険が発生したら、安全の確保に努めます。
- (オ) AQLは、常に準備をします。

3. 基本方針に則った対応

(ア) AQLは、安全確保体制を明確にします。

- ① 会長（代行を含む）は、以下の役割を担います。
 1. AQL全体の総括者として、この「AQL安全マニュアル」（以下、「マニュアル」という。）を策定し、公表します。
 2. 会長が直接主催する大会（全国大会や地域間プレーオフ等）では、責任者としてその安全な開催に努めます。
- ② 各地の地域代表者（同上）や、その他クイズイベント（安全基準準拠イベント等）の安全責任者は、以下の役割を担います。
 1. 各大会の総括者として、会長が策定したマニュアルの内容を把握し、周知します。このとき、各地域の実情からマニュアルの一部改訂が必要と考える場合は、会長の同意を得て改訂します。
 2. 複数の地域代表者合意の下で実施される地域間プレーオフ等では、そのイベントにおける安全責任者を事前に明確化し、安全な開催に努めます。
- ③ 会長や各地の地域代表者（以下、「責任者」という。）以外で各会場にいる方（以下、「参加者等」という。）は、以下の役割を担います。
 1. 参加各チームのリーダー及び引率者、専任スタッフ
 - ・ 責任者が定めた安全対策を十分に理解し、各チームのメンバーに伝達します。
 - ・ 災害が起きたり傷病者が発生したりした時は、率先して安全確保を実施します。
 2. リーダー以外の参加者、観戦・見学者等
 - ・ 責任者、チームのリーダー、または専任スタッフから伝達された安全対策を十分に理解し、災害が起きたり傷病者が発生したりした時は、落ち着いて適切な行動をとります。

(イ) A Q Lは、危険に近づきません。

- ① 以下のいずれかに該当する場合は、会場に向かったり一同に会したりすることが危険であるため、大会は開催しません。
 1. 会場建物が被災し、施設の正常な使用が困難であるとき。
 2. 権限を有する公的機関から、大会の中止や施設の使用中止を指示または要請されたとき。
 3. 会場に避難指示が発表されたとき、または警戒区域が設定されたとき。
 4. 会場のある市区町村に各種特別警報か暴風警報、暴風雪警報または津波警報が発表されているか、発表が見込まれるとき。(大会開始4時間前までに判断)
 5. 気象庁発表の台風情報で、大会開始予定時刻の2時間前から終了予定時刻の2時間後までの間に、会場のある地域が暴風域に入る確率が40%以上とされる時間帯があるとき。(大会前日正午までに判断)
 6. 大会前日または当日に、会場から半径100kmの域内で震度6弱以上を観測する地震が発生したとき。
 7. 国民保護法に基づく警報が発表されている間。
 8. 大会当日の8時から20時の間に、会場最寄り駅(地下鉄や路面電車のものを除く。)に乗り入れている鉄道路線が運休しているか、運休を予定しているとき。
ただし、一時的な運転見合わせの場合や、代行輸送(バスによるものは、運休路線の事業者自らが代替として運行するものは含め、平時より運行している路線バス等は含めない。)が実施される場合で、大会開始予定時刻までに8割以上の参加者が会場へ到着できることが確実な場合は、この限りでない。
 9. 参加者の多くが利用する道路や主要な道路が通行止めとなるか、通行止めが見込まれるとき。大会開始4時間前の時点で、会場のある市区町村に特別警報(会場のある市区町村が沿岸の場合は、津波警報を含む)が発表されるか、発表が見込まれるとき。
 10. その他、甚大な被害を及ぼす災害等が発生するか、発生が見込まれ、参加者の安全確保や円滑な大会実施が困難と見込まれるとき。
- ② 以下のいずれかに該当する場合は、責任者が大会の開催可否を検討します。開催となった場合でも、各参加者等は自身で安全を慎重に判断してください。
 1. 公的機関から、大会の実施や施設の使用を自粛するよう求められたとき。
 2. 責任者または参加者等の多くが居住する市区町村が、前項3.から9.に該当したとき。(位置や距離に関する記述は、「責任者または参加者等の多くが居住する市区町村」と読み替えます。)
 3. 会場のある市区町村に、警報(3-(イ)-①-4.に定めるものを除く)や津波注意報、高齢者等避難が発表されるか、発表が見込まれるとき。
 4. 参加者の所属する教育機関の多く(3割程度以上を目安)で、臨時休業や校外活動の不実施が行われているか、行われると見込まれるとき。

(ウ) A Q Lは、危険を発生させません。

全ての参加者は、以下のことに気をつけてください。

守っていただけない参加者等に対しては、責任者がクイズへの参加を止めさせ、退室を命じることがあります。また、犯罪行為については警察へ通報します。

① 体調の維持

すべての参加者は、日頃から栄養や衛生に気をつけ、大会前日は睡眠を十分にとってください。

クイズは怪我や体調悪化のリスクが低いと考えがちで、休憩や食事、水分補給、室内の温度・湿度管理、換気等がおろそかになることがあります。責任者を中心に、十分配慮してください。

そして、少しでも体調に異変を感じた場合は、大会前やクイズ中であっても無理せず棄権してください。

② 事故や外傷の予防

すべての参加者は、法令やマナーを遵守し、責任者や施設管理者の指示に従うほか、レイアウトを工夫したり、お互いに声をかけあったりして事故や外傷を予防してください。

移動中の交通事故や階段・配線でのつまずき、重量物の運搬、刃物を使用しているとき等は十分注意してください。また、休憩中や大会終了後など、緊張感が途切れている場面は事故が発生しやすくなります。

特に大会終了後など、緊張感が途切れているときは十分な注意が必要です。

また、高齢者等避難が発表されるか、発表が見込まれるときは、避難に時間を要する参加者は来場を自粛してください。

③ 犯罪行為やハラスメントの防止

1. 全ての参加者は、暴力行為やセクシャルハラスメント等、法令や公序良俗に反する行為は絶対にしてはいけません。

2. 貴重品（財布・現金、携帯端末、時計、録音機器等）は、各人の責任で厳重に管理してください。

3. 18歳未満（卒業式を終えていない高校3年生も含む）の参加者等は、18時の時点で実施している企画の勝者と敗者が決定したら、法令の範囲内で保護者が了承している場合を除き、まっすぐ帰宅してください。

・ 責任者は各地域の条例内容を確認してください。

④ その他の危険予防

1. 一切の酒類を禁じます。

2. 火気の使用を禁じます。

3. 喫煙所に行く場合など、クイズの場を離れる場合は、所在不明となることを防ぐため、2人以上の方にその旨を伝えてください。

(エ) A Q Lは、万一危険が発生したら、安全の確保に努めます。

① 大会中に災害が発生した場合

1. 直ちにクイズを中断し、安全の確保に努めます。
 - ・ クイズ大会の会場に使われる建物の多くは、不特定多数の人の出入りを前提に、頑強に作られており、避難所となっているところも多いです。従って、多くの災害に対しては「建物内避難」が最も安全であると考えられます。
 - ・ 火災や建物の著しい損壊、低地に立つ低層の建物での津波や洪水などは、建物外への避難が必要となることも考えられます。
 - ・ 責任者は、避難方法等を確認し、各チームリーダーに周知してください。
 - ・ 避難方法は、メンバーに対しては各チームリーダーから、その他の参加者へは責任者から伝達してください。
2. 周囲に具体的な危険を知らせつつ（「地震だ！机の下に！」「火事だ！」「不審者だ！」等）、危険から離れる・隠れるように自身の安全を確保してください。
 - ・ 火災の場合、余裕があれば初期消火を試みてください。
3. 建物から避難するときは、雨風をしのげる物と携帯端末以外、一切荷物を持たないでください。責任者と各チームリーダーは率先して避難誘導してください。
4. 避難（建物内避難も含む）が完了したら、責任者は各チームリーダーに点呼を取らせる等の方法で、逃げ遅れた参加者等がないか確認し、施設管理者や消防等に報告してください。
5. 一度避難したら、建物の安全が確認されるまで絶対に戻らないでください。
6. 安全が確保できたら、全ての参加者は保護者や親族に、自身の状況を伝えてください。大規模災害の場合は、災害用伝言ダイヤル（171）や災害用伝言板も利用してください。
7. スタッフを中心に情報収集を行い、全ての参加者が安全に帰宅できるか検討してください。
 - ・ 各種警報が発表されている段階での帰宅は危険です。その場合は安全が確保されているのですから、避難を継続し、各種支援を受けてください。
 - ・ 中高生の参加者については、保護者に対する迎え要請も検討してください。

② 大会中に傷病者が発生した場合（医療従事者の方は、ご協力をお願いします）

1. 卒倒・失神した場合
 - ・ 傷病者の周囲を見渡し、自身の安全が害されないことを確認してから傷病者に近づいてください。
 - ・ 傷病者の状態をよく観察し、意識・呼吸・脈拍・外傷の4点を確認します。
 - ・ 呼吸や脈拍が無い場合は生命の危機です。直ちに周囲の2人を指差し、「あなたは救急車を呼んでください。」「あなたはAEDを取ってきてください。」と明確に指示してください。
 - ・ そして、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始し、脳への血流を維持してください。かなり体力を要しますが、交代しながら救急隊に引き継ぐまで続けま

す。

- ・ AEDは、起動するとガイダンスが流れますので、それに従って適切に使用してください。

2. 出血している場合

- ・ まず傷口を圧迫して止血してください。ただし、血液に直接触れないよう十分注意してください。
- ・ 大量に出血しており、なかなか止血できない場合は救急車を要請してください。

3. 強い衝撃が加わった場合

- ・ 特段の異常が見受けられなくても必ず医療機関を受診させてください。特に頭部への衝撃は注意してください。

4. 発熱者が出た場合（参考：公益社団法人全国公民館連合会「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」）

- ・ 速やかに別室へ隔離してください。
- ・ 症状が重篤な場合は、保健所とも相談し、医療機関を受診してください。
- ・ 対応する方は、マスクや手袋の着用等適切な防護対策を講じてください。
- ・ 感染が疑われる者が確認された部屋を換気してください。
- ・ 責任者は保健所へ連絡し、消毒や濃厚接触者調査の指示を受けてください。
- ・ 感染が疑われる者と接触した方の氏名及び緊急連絡先を把握してください。

5. 医療機関を受診する場合（発熱者の場合を除く）

- ・ 傷病の現場に居合わせた1名と、傷病者のチームメンバー1名は同行してください。これは、医師や保護者に状況を説明するためです。

③ 中断からの再開

1. 責任者は、災害や傷病者への対応が一段落した後の再開ルールを定めておいてください。

(例)

- ・ 同一試合中のメンバーやボタンの配置変更は不可とする。
- ・ 体調不良者のポイント・×は残る
- ・ 次試合からのメンバー、ボタンの配置変更は可とする

(オ) AQLは、常に準備します。

- ① 責任者は、大会開催にあたって必要な保険に加入します。
- ② 全ての参加者は、健康保険証等（家族等との連名となっている場合は、写しでも可）を持参するよう努めてください。
- ③ このマニュアルを、より良くするため、常に見直します。

4. オンライン開催時の対策

インターネット等を介したオンラインのクイズイベントとして開催する場合、各人の環境に起因して起きる事件・事故・感染症等は、基本各人の責任である前提でご参加いただきます。これは、主催が各人の環境にまで踏み込み、確認していくことが実質不可能であるためです。

ただし、オンライン大会開催にあたっては、3. (ア)「AQLは、安全確保体制を明確にします。」の内容を踏襲し安全の責任者を明確化すると共に、以下の点に留意します。

(ア) 体調の維持への配慮

オンラインを通じたクイズイベントでは、長時間画面を見続けるため、疲労が蓄積していきます。これを低減するため、各人適切な環境・状態でオンラインクイズに挑むことを促します（椅子の高さを調整し無理のない姿勢での参加や、こまめな給水等）。また、1時間30分ごとに最低5分、できれば10分以上の休憩を取るようタイムスケジュールを組みます。

(イ) 災害対応

開催時、参加者や出題者の中に1人でも地震等の災害が発生した地域がある場合、直ちにクイズを中断し安全の確保を優先します。

(ウ) 18歳未満の参加者について

自宅または所属する教育機関の施設から参加している場合を除き、18歳未満（卒業式を終えていない高校3年生も含む）の参加者は、18時の時点で実施している企画の勝者と敗者が決定した後、法令の範囲内で保護者が了承している場合を除き、まっすぐ帰宅してください。